



1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑶 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブエバ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究者。「NPO アショーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェブリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

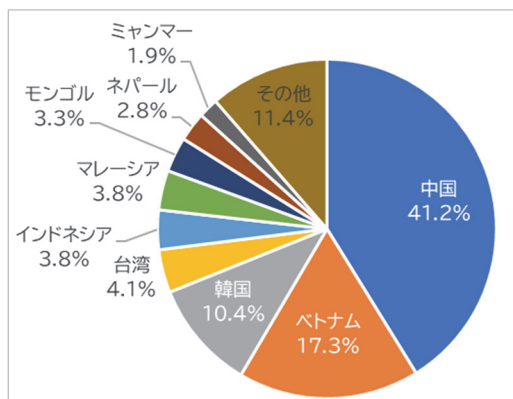
普 - 2.0% 特 + 10.1%

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしくお願いたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学



友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97 / 福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



5. 米山学友が日本の高校で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の正田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。